



古信濃川の出口近くにある「**本立寺**」は、延享3年(1746)に流作場の開拓者・**安佐玄昶**がツツガムシ撃退祈願のために弁財天を祀ったのがはじまりとされているお寺で、**玄昶のお墓**があります。本堂は大正12年(1923)の沼垂大火で焼失し、現在のものは昭和30年に新築されたものです。